

第31回 自然史標本情報発信に関する研究会

イントロダクション

2018.5.14.

国立科学博物館

細矢 剛

hosoya@kahaku.go.jp

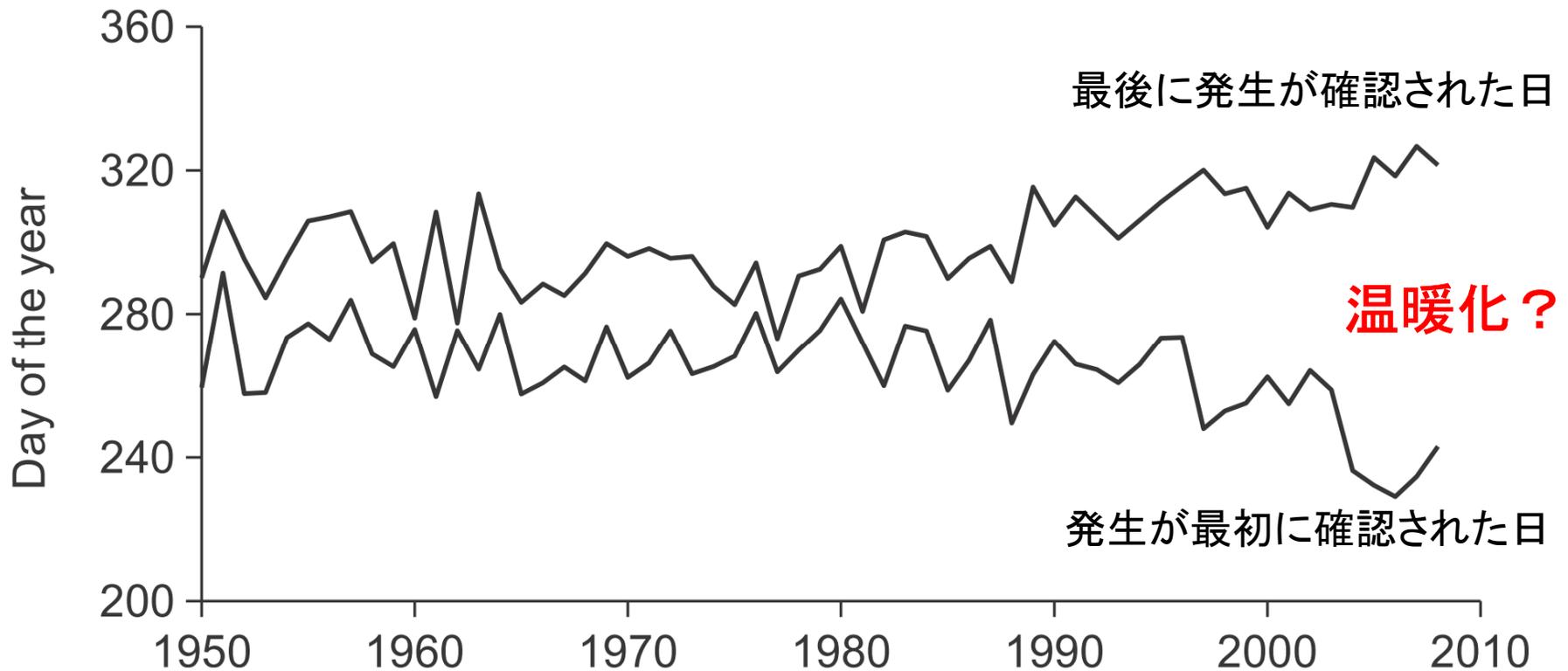


自然史標本の価値

- 分類学上の基準、証拠標本。
- 環境評価データの基盤。
- 保全生物学(絶滅危惧種・固有種・侵略的外来種)での利用。
- 共有のプラットフォーム→利用できる体制。



南イングランドにおけるきのこの出現期間延長 (数十万点の標本をもとに、386種を過去59年に わたって解析)



自然史標本の特性

- 存在（オカレンス）の物的証拠。
- しばしば、1個の標本の力は弱い。
- 多数集めてこそ力を発揮する。
- 特定の目的で集めたものではない。
→ 様々な目的に利用可能。



生物多様性情報

環境評価・資源探索・保全・・・



”One Stopで”

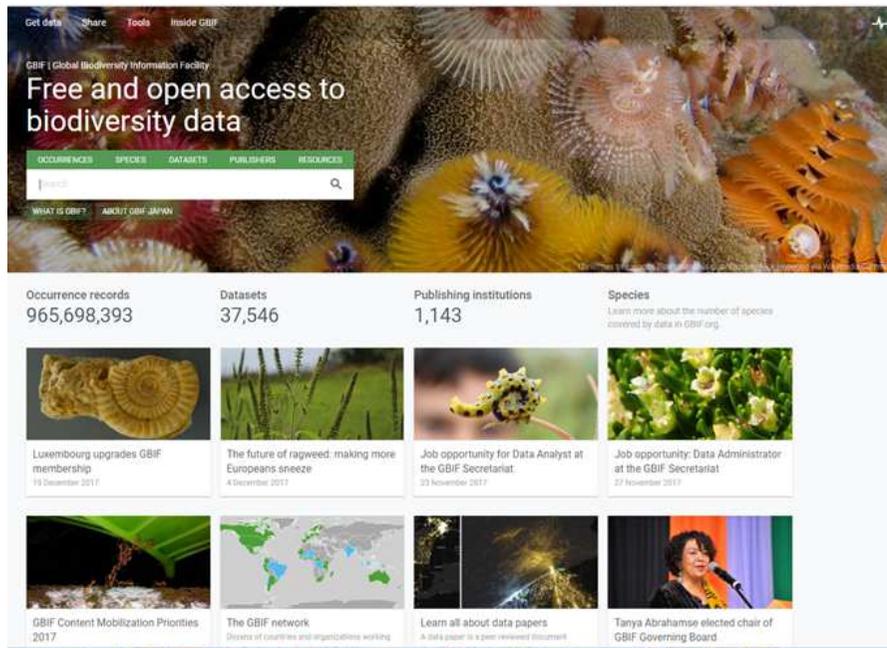


地球規模生物多様性情報機構

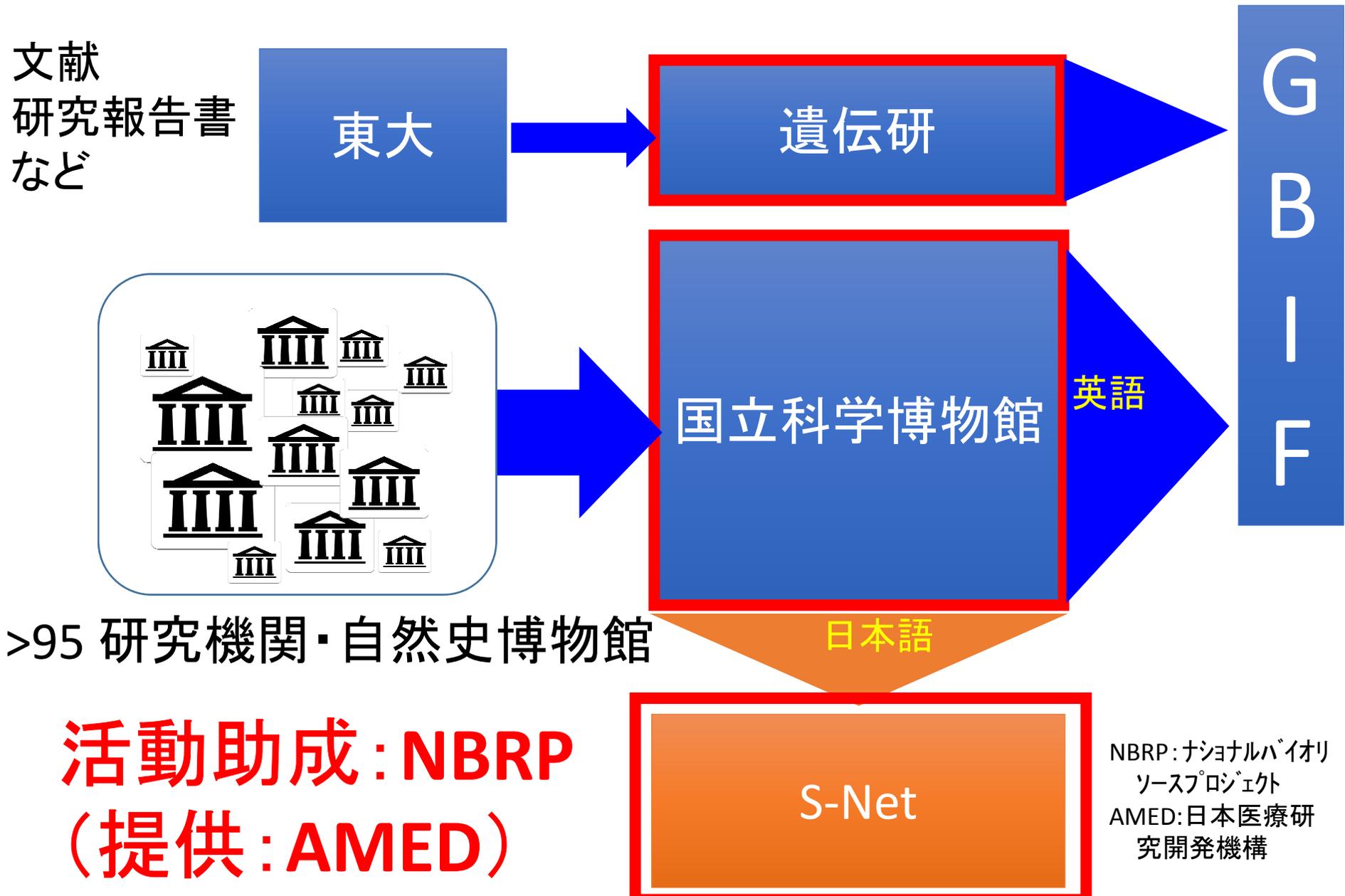
Global Biodiversity Information Facility

インターネットを介して、世界の生物多様性情報を誰でも自由に見られる仕組みを作っている国際機構

現在利用できる情報は・・・ **約10億件！**



日本ノードからのデータ出版の流れ



日本からデータを提供している機関

- 全国90以上の博物館・研究所・大学によって支えられています。
- データの収集活動はNBRPによってサポートされています。



自然史標本情報検索

→ ENGLISH

→ 詳細ページへ

全国の自然史系博物館が所有する、生物多様性に関する標本情報を検索することができます

キーワード

検索

研究員・学芸員検索

→ 詳細ページへ

全国の博物館等に所属する、研究員や学芸員を検索することができます

キーワード

検索



世界の生物多様性に関する自然史標本情報を検索することができます

→ 詳細ページへ



→ GBIF日本ポータルサイト

生物多様性情報発信のツール

■データ変換ツール ダウンロード([*] をクリックしてください。)

1. データ変換メインツール 一括 (2012/3/7更新) zip形式 [*]
2. 設定ファイル (2013/3/4更新) zip形式 [*]
3. データ事前整形支援ツール (2010/7/22更新) zip形式 [*]
4. マニュアル(標本データ変換ツール説明書 v3.0) pdf形式 [*]

■自然史研究のための地名辞書

地名辞書のサイトが開かれます

沿岸地名についての地名辞書はこちら

お知らせ

- 2014/05/14 左欄のレッドリスト種の検索・データ付加サービス(植物版)を更新しました(岐阜・山形県改訂を反映)。
- 2014/05/02 6月2日(月)に第23回標本情報の発信に関する研究会が開催されます。詳細は別添案内をご覧ください。
[案内]
- 2014/02/17 1982年(昭和57年)に出版された「日本沿岸地名表(海上保安庁水路部編)」に基づいた沿岸地名辞書を作成しました。
詳しくはこちら
- 2013/12/26 12月14日に通算第8回 GBIFワークショップ「外来種・移入種と生物多様性情報」が開催されました。

S-Netデータの用途

- 「県内産の維管束植物の分布状況の整理のため」
- 「特定の動植物の分布状況を調べる際になど」
- 「当該種の分布記録のチェック等に」
- 「都道府県レベルで生物の分布を調べる時など」
- 「インベントリー調査の基礎資料として」
- 「生物分布から地域の特徴を見出すのに利用」
- 「固有種の判定」

S-Netの課題：ギャップと品質

- 大部分は動物および植物（菌類は少ない）。
- 化石など、古生物分野のデータが入力できない→改善中
- 学名の誤りに対する修正機能は限定的→データの品質
- データが多い県と少ない県がある

S-Netが変わりました

背景

- サイエンスミュージアムネットのデータベースは、H17年度の立ち上げ以来同じシステムで長年運用してきました。
- このたび、システム契約期間満了に伴い、新規なサービス、使い勝手の向上を目指して、システムを再設計しました。
- 平成30年度より、新しいシステムによる公開がはじまりました。



全国の自然史系博物館の標本情報がここにあります

この「サイエンスミュージアムネット」は、主に2つの検索サイトから構成されています。
「自然史標本情報検索」は全国の博物館等が所有する「標本情報」と「採集に関する情報」が検索できます。

[機関・データセット一覧](#)

自然史標本情報 データセット 研究員・学芸員

全ての機関 ▼

キーワードを入れて検索

キーワードが含まれている自然史標本情報を検索します。

AND検索：キーワード間 "スペース" 例) 「キーワード1 キーワード2」で検索

OR検索：キーワード間 "+" or "|" > 例) 「キーワード1+キーワード2」で検索

NOT検索：キーワードの前に "!" 例) 「キーワード1!キーワード2」で検索

「自然史標本情報検索」は全国の博物館等が所有する「標本情報」と「採集に関する情報」が検索できます。
標本情報については学名、和名などから検索できるようになっています。

[検索](#) [詳しく検索](#)



お知らせ

2018/4/16 5月14日(月)に第30回標本情報の発信に関する研究会が開催されます。詳細は別添
案内をご覧ください。[案内](#)

2018/4/9 サイエンスミュージアムネットをリニューアルしました。

[過去のお知らせ](#)

データベース

- ダーウィンコアにより近く、多数のデータ項目が扱えるようになりました。
 - 化石データも扱えるようになります。
 - 生育環境・生活型・ホストなど新規のデータ項目を追加。
- データ提出がしやすくなりました。
 - 「変換ツール」が改良され、使いやすくなります (User friendly tool!)
 - エクセルファイルがそのまま使えるようになります (No more CSV!)

ホームページ

- 提供機関ごとに検索ページがつくれます。
 - あたかも提供館専用の検索ページのように利用できます。
 - 提供館のホームページに設置できる検索フォームも提供します。
- コレクションや機関についての情報(メタデータ)も公開できます。
 - 機関のコレクションの特徴を鮮明に示せます。
 - メタデータはCC0にて公開予定。
- 利用を促進する機能が充実します。
 - ファセット検索により、望む情報を取得しやすくなります。

本日のプログラム

- 13:30-13:40 **趣旨・背景説明**
細矢 剛(国立科学博物館)
- 13:40-14:40 **新S-Netシステムの説明**
神保 宇嗣・水沼 登志恵(国立科学博物館)
吉田 勇二(インフォコム(株))
- 14:40-15:00 **休憩**
- 15:00-16:00 **変換ツールの使用とデータ提供**
水沼 登志恵(国立科学博物館)
- 16:00-16:30 **S-Netの利用事例の紹介**
細矢ほか
- 16:30-17:00 **総合討論～S-Netの利活用を推進するために～**

今回の会合の目的

1. 新しくなったホームページを紹介する。
2. 現時点でのトラブルを把握する。
3. 新しい変換ツールを紹介する。
4. 今後の改善に向けてのニーズ・課題を把握する。
5. 利活用推進に向けての方策を検討する。

連絡(お願い)

1. ジャパンサーチとの連携をご承知おき下さい。
他分野との横断検索を可能にするための活動です。自然史標本の地位と存在感の向上にご協力下さい。
2. 使用事例のご提供をお願いします。
事例集を作成し、配布します。
3. 成果論文の登録をお願いします(RRC:
<https://rrc.nbrp.jp/>)。
成果論文は、NBRPの課題評価につながります。